

志高錬成

～志を高く持ち、
よりよい成果を得るために、
粘り強く自分を鍛える～



令和8年7月10日 7号

佐久市立浅科中学校 文責：中島

『言葉』は「エネルギー」にも「凶器」にもなる…みなさんで考えたいことです

7月に入りました。1学期も3週間あまりとなり、各学年で「学期のまとめ」が行われています。今年度は通知表が前後期制となり、通知表をもらって夏休み…という形ではなくなりましたが、先週行われたテストの結果を見ながら、これからの学習のこと、日頃の学校生活のこと、3年生は進路についてご家庭でお話して頂けると幸いです。

今回の学校だよりにどんなことを載せようか…と少し考えてみました。本校の生徒たちは日々の活動にきちんと取り組んでいます。当番活動にもきちんと参加できています。しかし、私自身、少し気になることがあります。それは「言葉遣い」です。

「うざい」「きもい」「消えろ」「死ね」

いつもではありませんが、そんな言葉が聞こえてきます。言っている本人は意識していないのかもしれませんが「言葉はある時には「凶器」になるのです。これは、私の教員人生の中で何度も経験し、痛感してきたことでもあります。そんなことを考えていた時、私はある出来事を思い出しました。

今から20数年前、私は中信地区のある中学校に勤務していました。その学校で3年生の担任になった年に始まったのが、「前期選抜」です。「面接だけで合格できる…」。本当はそれ以外にもいろいろあったのですが、そんな言葉や意識が独り歩きをし、クラス33名のうち、前期選抜を受けた生徒は28名。そのうち合格したのは12名。今では考えられないですが、その年は、どの学校もそんな状況でした。

合格発表の翌日。私は生徒たちに「合格した者はこれからの生活をしっかり送ること。不合格だったものは次の試験に向けて頑張ること。不合格だったことを引きずっても状況は変わらない」という内容の話をしました。それぞれの生徒たちに最後まで頑張って欲しいとの思いを込めて話したつもりでした。しかし、その際、私は不合格だった生徒たちに「失敗」という言葉を使ってしまいました。その時、私自身は全く気づきませんでしたが、次の日、ある女子生徒が生活記録にこんなことを書いてきてくれたことで分かったのです。

先生、前期試験が不合格だった人に「失敗」って言うのはおかしい！！。私は前期試験を受けなかったけど、前期試験を受けた人たちって今まで作文書いたり面接練習頑張ってきたじゃん。それなのに、そうやって頑張ってきた人たちに不合格だったからって「失敗」って…。私はやっぱりおかしいと思う！！

最初、上の文章を読んだ時、何を言っているのか分かりませんでした。なので、その生徒を呼んで話を聞きました。私が「失敗」という言葉を使ったのは事実のようでした。「これはまずい…」と思った私は、その日の午後学活で謝罪をし、クラス全員が合格するまで頑張ろうと伝えました。もし、その女子生徒が上に乗せた文章を書いてくれなかったら…と思うと今でもぞっとします。生徒に救われた。そんな経験です。

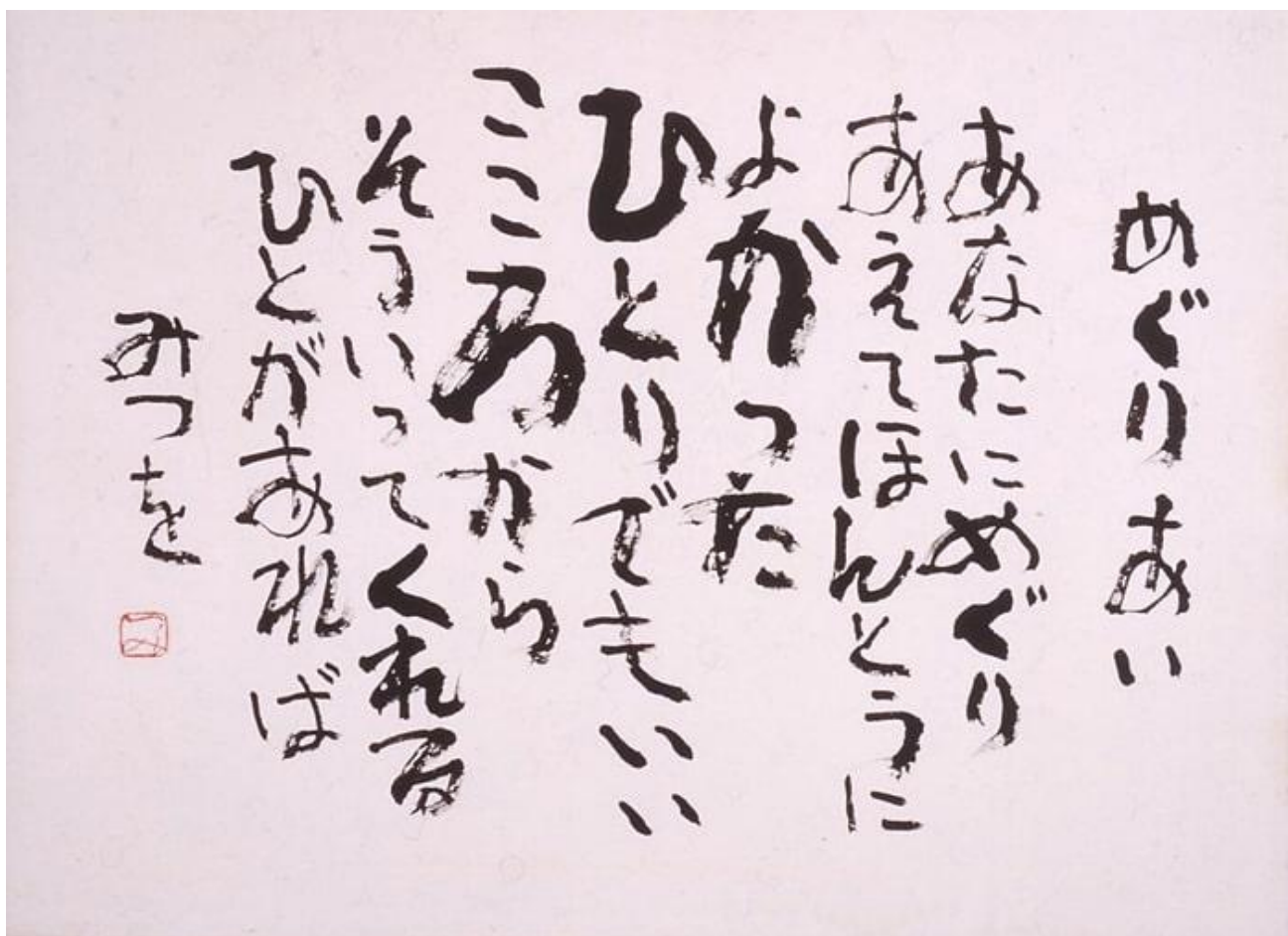
また、私がクラスを運営する際、大事にしていたものの1つに「クラス合唱」があります。「みんなでやるのだからみんなで頑張ろう」。そんな話をしながら毎日練習をしました。しかし、最初から上手いかわないこともあり、「何で歌わなきゃいけないの？」と露骨に嫌がる生徒もいました。「何で分からないんだ！」と思ったこともあります。しかし、歌

わない生徒を指導しても状況は変わらないと考え、「みんながみんなで頑張る合唱にしよう！」と言い続けました。そんな中、最初は合唱に意欲的ではなかったある男子生徒が、裏面に載せたような生活記録を書いて来たのです。

正直、合唱が嫌いな人って正直いると思う。そういう人たちに「歌え！」って言ってもあまり意味がない気がする。それなら、自分が精一杯歌って、歌いたくない人の気持ちを変えたいと思います。だから、僕は一生懸命歌います。

その時、私がこの生活記録を読んでどれだけ勇気づけられたか分かりません。早速この文章を学級通信に載せ、その後も合唱練習を頑張りました。その結果、文化祭の合唱コンクールでは金賞を取ることができました。金賞という評価はもちろんうれしかったですが、みんなのために頑張ろうと思える生徒がクラスにいたことの方がうれしかったことを覚えています。上の文章は、まさに私を救ってくれた文章でした。

「そんなつもりで言ったんじゃない」。気になる言葉を使った生徒に聞くと多くの生徒がそう言います。しかし、実際は仲間を傷つけ、いやな思いをさせてしまうケースがとても多いです。また、その一方で、その一言が周りの誰かのエネルギーになることもあります。つまり、言葉って、とても大切なものだと思っています。しかし、そんな意識を持って使っているかと言えは「？」がつくような人が多いです。いつも意識することは難しいでしょう。でも、折に触れて「言葉」について考えてみる必要があるのでは？と思っています。お家でも機会があれば「言葉」について考えてみてはどうでしょうか…？



私にとって「失敗っておかしい」と言ってくれた生徒も「一生懸命歌います」と言ってくれた生徒も「財産」です。人と人とのつながり(めぐり合い)はとても重要だと思います。まさに「ご縁」だと思うのです。浅科中の生徒たちがより良い「ご縁」に恵まれ、全ての生徒にとって居心地の良い学校になることを願っています。

【連絡】

・次のスクールカウンセラーの相談日は7月13日(月)午前です。生徒の皆さん、保護者の皆様どなたでも懇談利用できます。懇談希望は、担任の先生または教頭までご連絡ください。